

## インタビュー Vol.02

### 就職を機に上京後も地元と関わり続ける

連優起さん（25歳、男性、神奈川県）

---

関わる地域：滋賀県長浜市



**Q** 現在、地域のどのような活動に関わっていますか。

**A** 首都圏在住で長浜市にゆかりのあるメンバーが集まる「東京－長浜リレーションズ」の一員として、イベント開催を中心に様々な活動に取り組んでいます。

今年度は、長浜市の新しいふるさと納税の返礼品となる体験型ツアーを一から企画し、プロモーションの実行まで幅広く関わらせていただきました。

**Q** 地域の活動に参加しようと思った経緯や目的を教えてください。

**A** 大学進学を機に地元を離れたことで、地元の良さを感じ、地域の活動に関わるようになりました。東京ー長浜リレーションズの存在は、就職を機に上京したタイミングで知り、首都圏で生活をしながらも地元貢献できればと思い、東京ー長浜リレーションズに参加しました。

**Q** 継続的に地域と関わりたいと思った理由を教えてください。

**A** 地域に関わることで、地域に対して熱意を持たれている方々と繋がり、そのような方々と共に地域に関わることを自分のライフワークの一つとして捉えるようになったため、継続的に地域と関わりたいと思うようになりました。

**Q** 地域の活動に継続的に参加してみて、地域に対する印象は変わりましたか。

**A** 幼いころに生活していたいわゆる”地元”のイメージではなく、”常に進化を続ける場”であると感じています。人口減少など課題もありますが、実際に地域に行ってみると、熱意を持った方々が先進的な取り組みをされており、都会では感じられない”新しい気づき”を与えてくれる場であると感じています。

**Q** 今後、地域とどのように関わっていきたいですか。

**A**

本業の仕事で得たスキルや経験を地域に還元することで貢献したいと考えています。

**Q**

これから地域との関わりをつくっていきたいと考える方々に対して、メッセージをお願いします。

**A**

地域と関わることで、職場や家庭といった既存のコミュニティとは別のコミュニティに参加することができます。同郷のコミュニティであれば、家族でも友達でもない地元ならではの心地よさを感じながら、地域貢献を通して誰かの役に立てるので、幸福感を得やすいのではないかと考えています。100人いれば100通りの関わり方があるはずなので、自分に合った地域との関わりを見つけ出していただければと思います。



7:00 自宅を出発し、新幹線  
で滋賀県長浜市へ

11:00 自分たちで企画した  
体験型ふるさと納税  
ツアーを実際に体  
験。親子向けのツア  
ーということもあ  
り、懐かしい地元の  
自然に触れる。

15:00 ツアーの体験が終わ  
り、今後のツアー造  
成に活かすためのミ  
ーティングを実施。  
課題を整理し、今後  
の方針を決定して解  
散。

18:00 そのまま東京に戻ら  
ず、地元の友達と食  
事へ。